

第4回 山口県レフェリーキャンパス 2018 in 宇部 2018. 6. 12

宇部マテフレッセラテニスコート（宇部市中央テニスコート）第一会議室

第4回山口県レフェリーキャンパスを宇部で開催しました。宇部ではスタートとなった4月の第1回に続き2回目で、今回も内田康博氏にお世話していただきました。19時30分開始で仕事を終えて集まれるように企画されました。

参加者は下の写真左下から島川、佐伯（夫）、内田、山本晃広、左上から藤田、佐伯（妻）、黒田、杉山、山本健一、石原、そして撮影者・大井の11名。テーマに関心があると佐伯さん夫婦（4種の指導）で参加されました。



講義内容

1. 「女子審判員の現状」（島川敏弘氏）

山口県の女子チーム数（20）に対して女子審判員数（153名+ α ）は決して審判員が不足しているとは言えないが、アンケート調査を実施してみると、新規取得講習会の若い（15

～18 歳) 受講者は意欲的であるが、チーム関係者や審判員資格取得者の上級を目指す意識はもとより普段の審判活動に消極的という結果となり、実働審判員の少ない理由が伺えるということでした。

昨年 1 年間の各大会での女子審判員担当試合一覧表を作成して紹介されました。決勝戦は全て女子審判チームで行われるなど、地道な取り組みの報告がありました。



2. 「8 人制サッカーと一人制審判の動きをみんなで考えましょう」(山本晃広氏)

一人制審判法は 8 人制サッカーの関係者にとって、まだ試行錯誤の状態でのこのテーマは関心の高いものです。自分の体験を中心に自作の映像を準備して、ブレインストーミングの手法を取り入れながらの工夫された講義でした。一人審判を行うユース審判員へどのようなアドバイスをしたらよいかをみんなで考えました。

- ・動き方…基本的には 11 人制と同じ
- ・ポジションの取り方…争点に近づく、首を振る
- ・コミュニケーション…「笛が鳴るまで一生懸命やろう」と選手に声掛け



3. 「ゲーム分析」(内田康博氏)

先日の県総体の映像から 2 シーン。

- ・ 警告の判定、異議に対する対処
- ・ C K の際の監視

◎今回も近くの「餃子の王将」で 2 次会 (7 名)。下関の家に帰りついたのはやはり 23 時過ぎでした。

次回の宇部開催は 8 月 21 日 (火)。発表者は藤田亮氏と山本健一氏です。両名ともに昇級にチャレンジしています。よい報告が聞けますように！